令和４年度　自己評価・学校関係者評価報告書

令和５年３月３１日

（学）金沢学園(認)金沢南保育園

１、本園の保育目標

・健康で明るく素直な子ども

・たくさん経験をし、五感を豊かに想像力をふくらませる子ども

・優しさ、思いやり、勇気、感動を共有できるこども

・人の話を聞いて、自分の気持ちを言葉で表現できる子ども

２、本年度重点的に取り組む目標・計画

・一人ひとりの幼児を大切にし、安全な保育を心掛ける。

３、評価項目の達成及び取り組む状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	全体的な計画を見直し改善を図る	A	コロナ感染の状況をふまえて、その都度最善と思われる計画を立案し活動してきた。保育士が定期的に話し合い、ねらいや内容の見直しを何度も行った。
2	保育の質向上のために、園内研修を充実させる	B	個の理解やあそびの充実、コロナ禍の過ごし方について話し合いを設けてきた。継続出来なかったり、全体へ伝達が難しく課題が残った。
3	特別支援教育のための園内支援体制を整備する	A	特別支援コーディネーターを中心に話し合いを設け、個別シートの作成や個別支援計画が作成できた。又、支援が必要な子の家庭や関係機関との連携を図る事ができた。

評価（A・・十分に成果があった　B・・成果があった　C・・少し成果があった　D・・成果がなかった）

４、総合的な評価結果

評価	
B	３つの評価項目について取り組んだ結果、子ども一人ひとりの置かれた環境を１番に考え、安全で安心な保育を実践する事ができた。さらなる保育の質の向上に向けた課題も明確になったので令和３年度に達成できるように取り組んでいきたい。

評価（A・・十分に成果があった　B・・成果があった　C・・少し成果があった　D・・成果がなかった）

５、今後取り組む課題

	課　題	
1	環境	コロナ禍における園庭や室内の環境について話し合い、コロナの状況に応じられるようにする。又、異年齢同士の関わりをどのように持つことができるのか、そして、遊びを充実できるよう環境の構成に取り組む。
2	安全管理	緊急事態発生に備えて、危機管理マニュアル等を保育士間で共通理解し、意識の向上を図る。又、月１回の避難訓練は反省を生かしながら取り組む。
3	個の理解	個の理解をより深める為、話し合いの場を継続して設ける。無理なく継続できるように方法を検討する。

６、学校関係者評価委員会の評価

※委員の総合的見解は、総合評価のＡと同様にほぼ評価が高かった。

１．コロナ禍、安全に一年間保育ができたこと、コロナ禍の研究が進み保育の質を確保できた。

２．コロナ禍で環境も改善し整え、保育の質の向上にもつながったとの高い評価を得た。

３．学園全体的に高評価と４施設の連携や地域社会との連携も確立でき委員からも良い賛辞を頂いた。